②　伊予市の取組

ア　平成 24 年度の緊急合同点検及びその後の対策状況等

●道路の白線等の引直しや横断歩道の設置等、少しずつ対策を進めてきましたが、十分な対策ができていない箇所も残っている現状です。
●緊急性・危険性の高い通学路から点検を行ったため、学校によっては点検・対策の必要な通学路が残っていたり、新たに点検・対策が必要な通学路が見つかったりしています。

イ　平成 25 年度の取組の経過

●現状把握のため、6 月下旬に市内各小学校へ通学路の危険箇所について調査を実施
●7 月 22 日、第 1 回伊予市通学路安全対策連絡協議会を開催
・委員が専門的な立場から対策可能な方法を出し合い、より効果的な対策について協議を行いました。

【協議会対策案及び今後の対策案（一部抜粋）】

学校名	区分	点検箇所	状況・危険の内容	学校の希望する対策 【協議会の対策案】
中山小	県道	商店街の道路	商店街は、多くの徒歩通学児童が通る。路上駐車があり、児童が迂回しなければならない場所がある。	路上駐車をしないよう、地域で呼びかける。また、パトカー等で巡回してほしい。 【区長を通して地域へ呼びかける。また、駐在所員による巡回を行う。】
伊予小	市道	上三谷市道 栗林～大替地間	交通量が多いが、歩道と車道を区別する外側線がほとんど消えかかって見えない。横断歩道が消えかかっている。	歩道と車道を区別する外側線、横断歩道を引き直してほしい。 【来年度予算を確保し、舗装するときにラインも引く方向で検討している。】
郡中小	市道	郡中小学校体育館裏の地下道	地下道内でスピードを出して通行する車や自転車が多い。また、中央公民館側の出口で停止をしない二輪車が多い。	看板の設置や、速度を落とすようなラインを入れる。また、見守り隊の方に協力を依頼する。 【現場確認をし、停止線等の検討をする。】

●11 月 26 日、第 2 回伊予市通学路安全対策連絡協議会を開催
・対策案の進捗状況と今後の課題について確認し、後日、市内各小学校へ報告しました。

【対策案の進捗状況（一部抜粋）】

学校名	今後の対策案 （点検後の対策案のまとめ）		対策案の進捗状況
中山小	登下校時間帯に路上駐車をしないよう、駐在所の広報誌等で地元住民に周知徹底する。改善されない場合は、パトカー等で巡回したり、取り締まりをしたりする。（警察） 区長を通して呼びかける。（地域）	⇨	駐在所の広報誌で周知している。また、今後、伊予署と駐在所が連携して巡回や取り締まり等を行う。（警察）
伊予小	来年度以降、道路の舗装工事の際に引き直しを進めていく。（市道路河川課）	⇨	2 年計画で行う予定にしており、現在予算計上をしている。（市道路河川課）
郡中小	歩道の出口にストップマークを設置する。また、入口付近に「飛び出し注意」の看板を設置する。（交通安全協会） 入口周辺のカラー舗装化の要望を地域から出してもらう。（地域・市道路河川課） 学校での安全指導の徹底を図る。（学校） 地下道の中にカーブミラーの設置を検討する。（市防災安全課）	⇨	西側出口にストップマークの設置が完了している。また、東側入口付近のＴ字路に「飛び出し注意」の看板設置及び、ストップマークの設置が完了している。（交通安全協会） カラー舗装については、市政懇談会でも要望が出ており、今後検討していく。（地域・市道路河川課） 安全指導の徹底を図っている。（学校） カーブミラーは、設置済み。（市防災安全課）
北山崎小	横断歩道の塗り直しを検討する。（警察） 減速につながるようなドット線を検討する。（県） 注意喚起につながる「横断歩道有」の旗を設置する。（交通安全協会）	⇨	横断歩道は、補修する予定で本部へ上申している。（警察） ドット線は、施行している。（県） 注意喚起につながる「通学路注意」の旗を設置（交通安全協会）

ウ　具体的な対策

●1 月末現在、各校の対策状況（主な対策済みの箇所）

A　南山崎小学校

【看板の設置】

【通学路の除草】

B　北山崎小学校

【ドット線の設置】

【安全旗の設置】

C　郡中小学校

【ストップマークの設置】

【カーブミラーの設置】

D　伊予小学校

【カラー舗装化】

【横断歩道の引き直し】

E　学校における安全指導等の充実

- 通学路安全対策アドバイザーによる登下校指導
- 児童への安全指導の徹底（交通安全教室の実施や学級活動等での指導）
- 教職員による登下校指導の強化
- 見守り隊への協力依頼
- 青色防犯パトロールの実施（本年度より市内全小・中学校で実施）
- 「サイクルマスター」育成講習会の開催（伊予警察署との連携）

エ　成果と課題

＊成果

・関係機関と連携しながら協議会や安全点検を行ったので、さまざまな視点から対策案を検討し、対策の実施が効率的に行われました。

・伊予市通学路安全対策連絡協議会を開催し、事前に対策案の協議を行ってから通学路の安全点検を実施したので、より効果的な対策案を立てることができました。

＊課題

・ハード面（道路の拡張や横断歩道の設置、外側線の引き直し等）の整備は、予算と時間がかかるので、ソフト面（児童への安全指導の徹底や保護者・地域住民の協力等）の整備を充実させる必要があります。

・生活道路と通学路の関係性を考慮すると、今後、さらに学校と地域が連携して通学路の安全対策を講じていく必要があります。